

3 ．市街化調整区域の地区別の現況

（ １ ）対象地区の概況

市街化調整区域のうち、山なみ景観保全地区、近郊緑地保全区域、山なみ景観保全検討地区に指定されている部分については、既往の計画で保全していくとの方向性が出されていることから、対象地区はそれらを除いた地区とする。

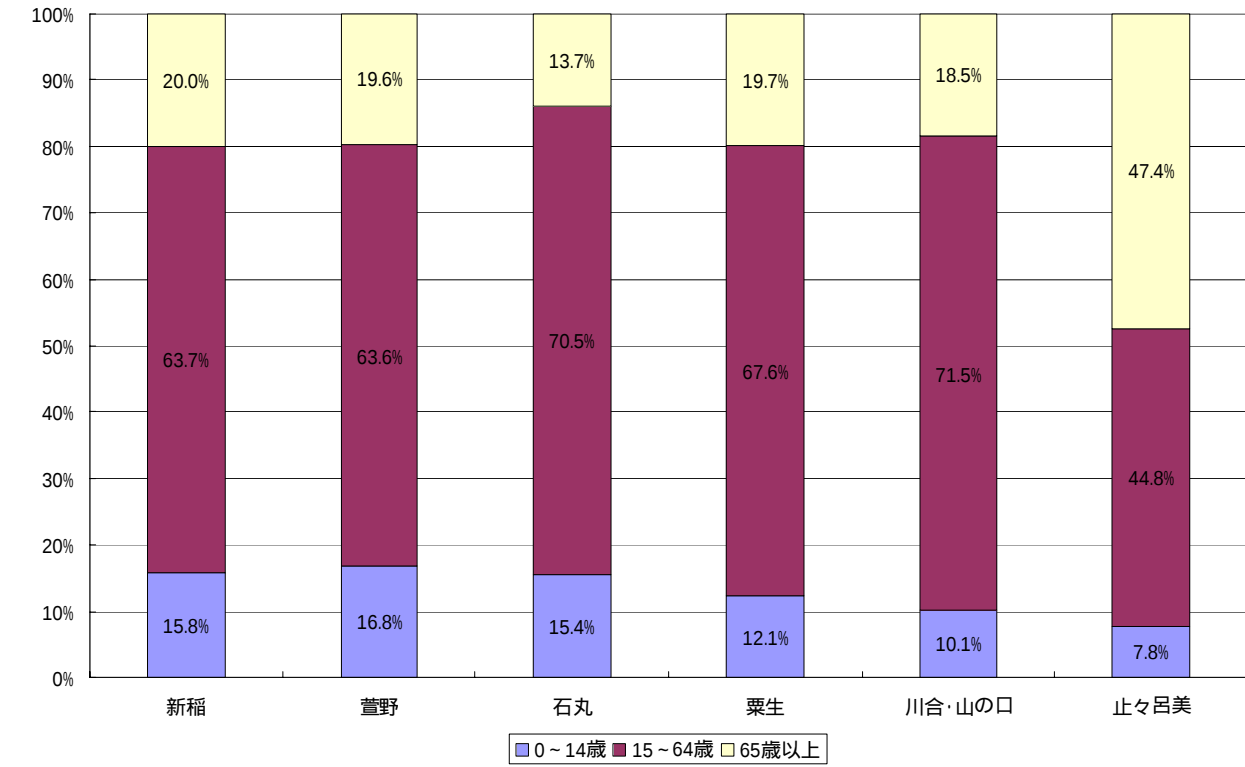
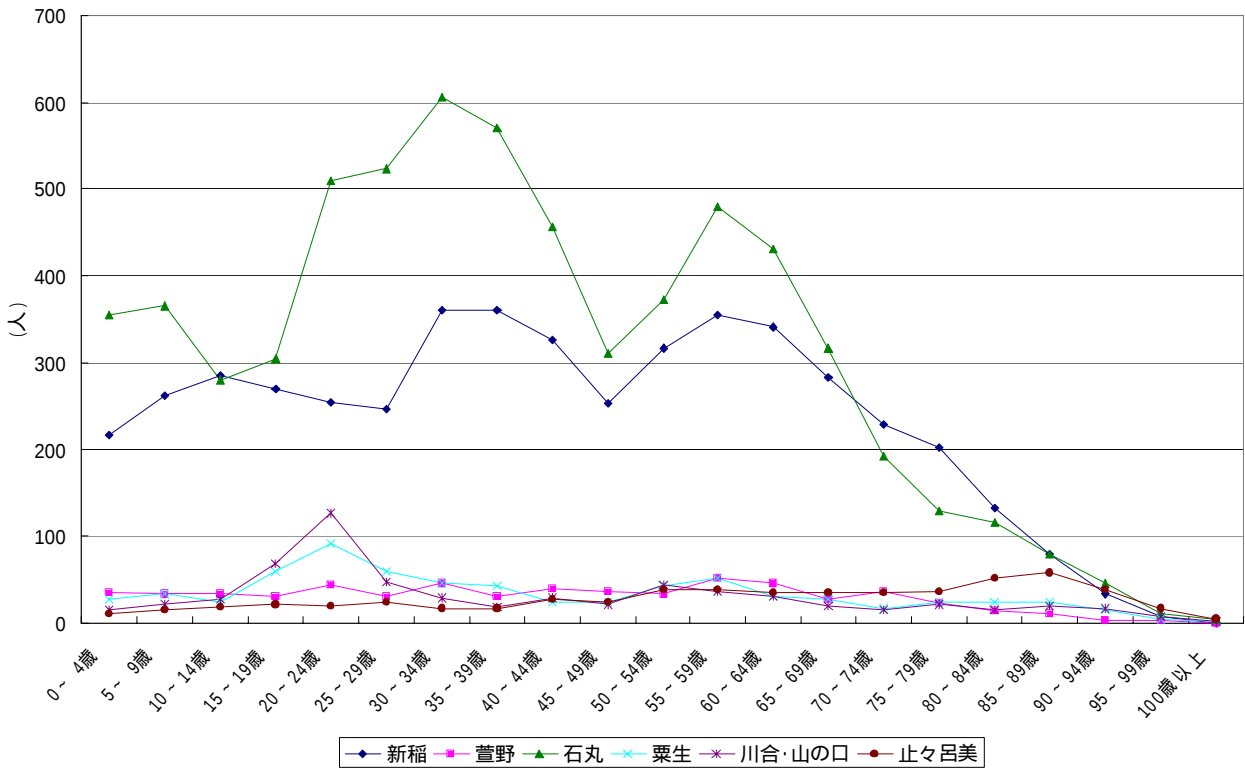
地区名・面積	土地利用（割合）	建物用途・開発動向		基盤整備状況
		地区内	地区周辺	
新稲 約 51ha	畑（69.1） 山林（10.0） 北部は山林、南部は畑地（花卉）と集落地が占める ため池が多く立地	・地区南部の境界部での専用住宅の新築が多く、開発圧力高い ・箕面池田線沿道では商業店舗の立地が見られる	・地区南部の桜ヶ丘は古くからの戸建て住宅地として市街化	・東西に貫通する箕面池田線は整備済 ・南北に貫通する瀬川新稲線、田村橋通り線は未整備
萱野 約 19ha	田（65.0） 集落地（33.2） 田・集落地で 98.2％を占める	・地区南西部（稲三丁目）でまとまった宅地開発がなされた ・その他は集落＋農地の景観が良く保全されている	・国道 171 号沿道に商業施設が立地 ・周辺の農地も宅地化が進む	・地区内の認定道路は幅員 4mに満たない細街路 ・東側の隣接地では農住組合による土地区画整理事業が実施
石丸 約 56ha	田（58.9） 学校（8.8） 一般市街地（8.3） 運動場・遊園地（8.2） 商業業務地（6.3） 田の中に学校、運動場、一般市街地が立地	・農地転用、建物新築が地区内各所で見られる ・農地転用後は専用住宅になるケース多く、国道 171 号沿道では商業店舗の立地	・萱野中央の土地区画整理事業が西に隣接、敷地整序とともに宅地等の開発が進む ・国道 171 号沿道は商業施設の立地進む	・南北に貫通する千里 2 号線は整備済 ・地区内の認定道路は幅員 4mに満たない細街路が多い ・萱野中央から接続する萱野東西線は未整備 ・隣接する萱野中央の土地区画整理事業は完了
粟生 約 33ha	田（41.6） 山林（25.6） 集落地（8.6） 工場地（8.4） 田・山林が中心で、集落地の他に工場が立地	・大規模工場が立地 ・地区北部の茨木能勢線沿いに住宅がまとまって立地 ・地区南部は山麓線と接続、沿道に店舗が立地し、住宅への農地の転用が見られる	・周辺は UR 粟生第 2 住宅の中高層住宅地、あるいは粟生間谷・青松園などの戸建て住宅地が主 ・宅地化された農地が多い	・彩都までをつなぐ国文都市 4 号線が整備予定
川合・山の口 約 38ha	田（46.8） 山林（31.1） 集落地（7.6） 北部は水田と集落、地区南部は山林が残る	・勝尾寺川沿いに集落・農地・ため池が広がり、大きな開発等は起こっていない ・茨木能勢線沿いに沿道系の商業店舗が立地	・茨木市との境に位置し、茨木市側も農村集落（宿久庄（しゅくのしょう））と連続している ・北西部（粟生間谷東一丁目）は農地・ため池の市街化が進んだ	・彩都への主要アクセスルートとなる茨木箕面丘陵線・モノレール専用道が開通
止々呂美 約 972ha	山林（75.6） 畑（9.7） ほとんどが山林、畑地ではびわ、くり、柚子などの特産品を栽培	・箕面森町の他は大きな開発などはない ・今後は有料道路の開通、まちびらきに伴い沿道サービスなどの開発が増加する可能性がある	-	・箕面森町の整備が進行中、H19 年度より道路供用開始 ・御堂筋線（箕面有料道路）が開通

面積・土地利用の割合は平成 18 年度都市計画基礎調査結果より図上計測（次ページ以降参照）

(2) 対象地区の人口・世帯

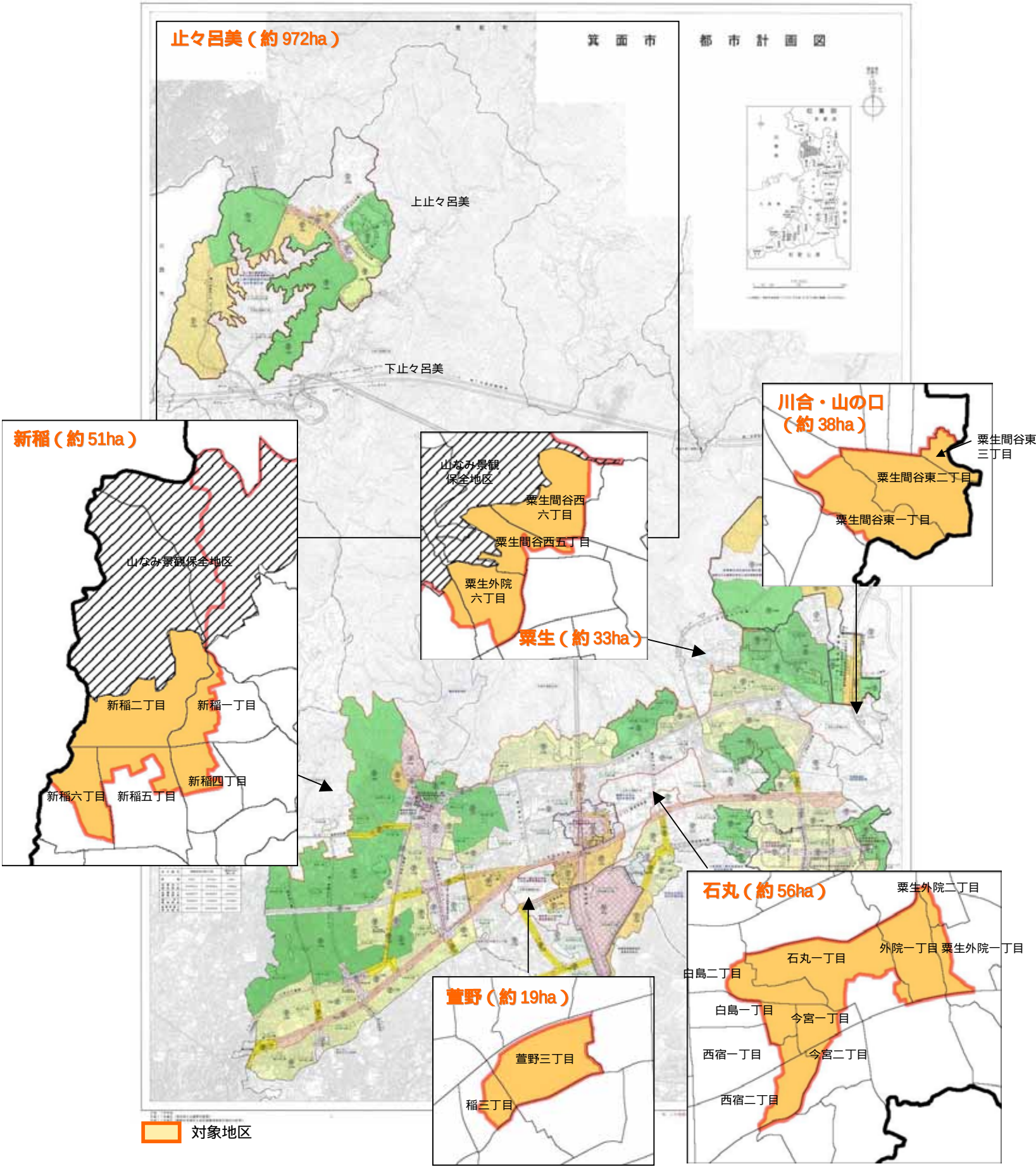
	世帯数 (世帯)	人口 (人)	1世帯あたり 人数
新稲	1,794	4,833	2.7
萱野	196	607	3.1
石丸	2,526	6,473	2.6
粟生	296	700	2.4
川合・山の口	286	634	2.2
止々呂美	138	580	4.2

左図で記載した町丁目単位で
集計しているため、対象地区内
の人口・世帯数とは厳密に一致
しない



対象地区の人口・世帯の状況

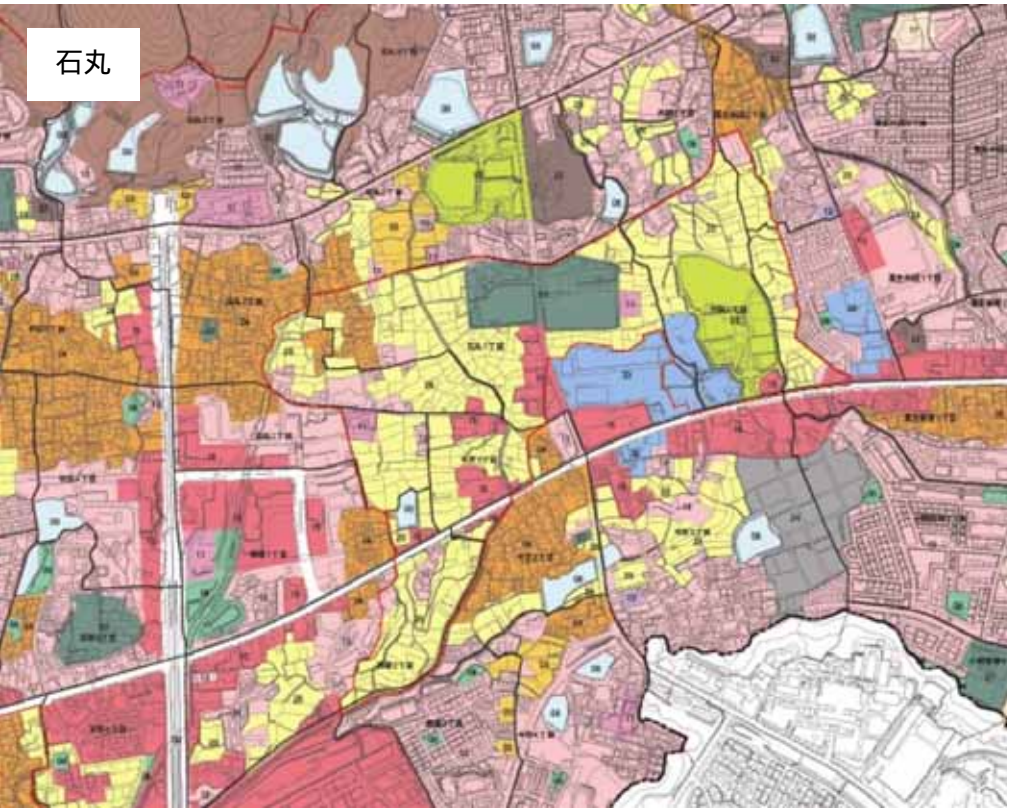
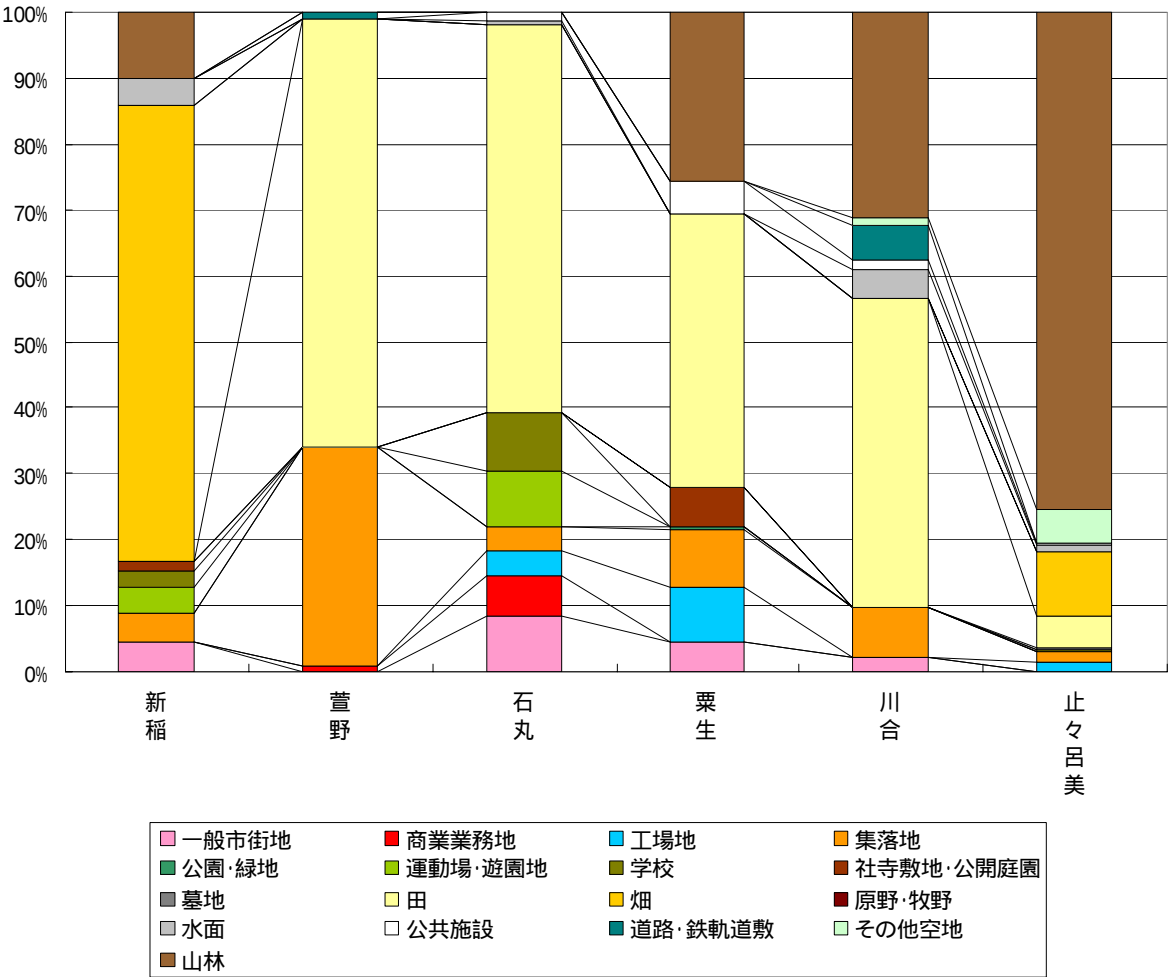
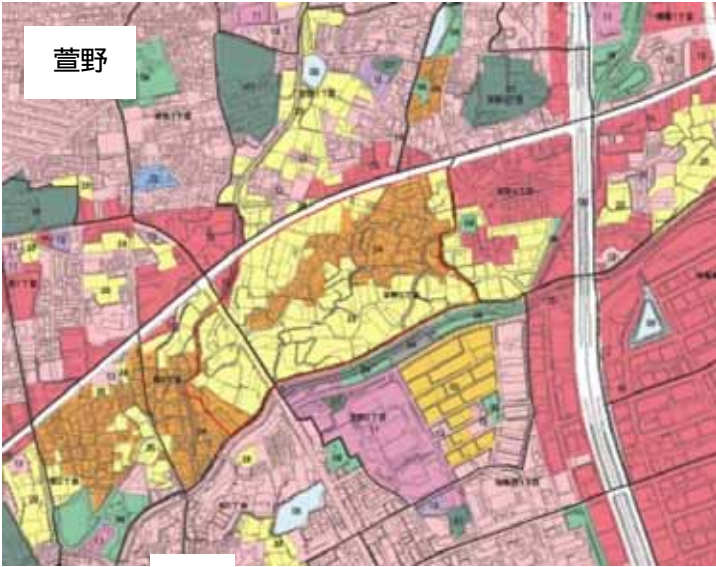
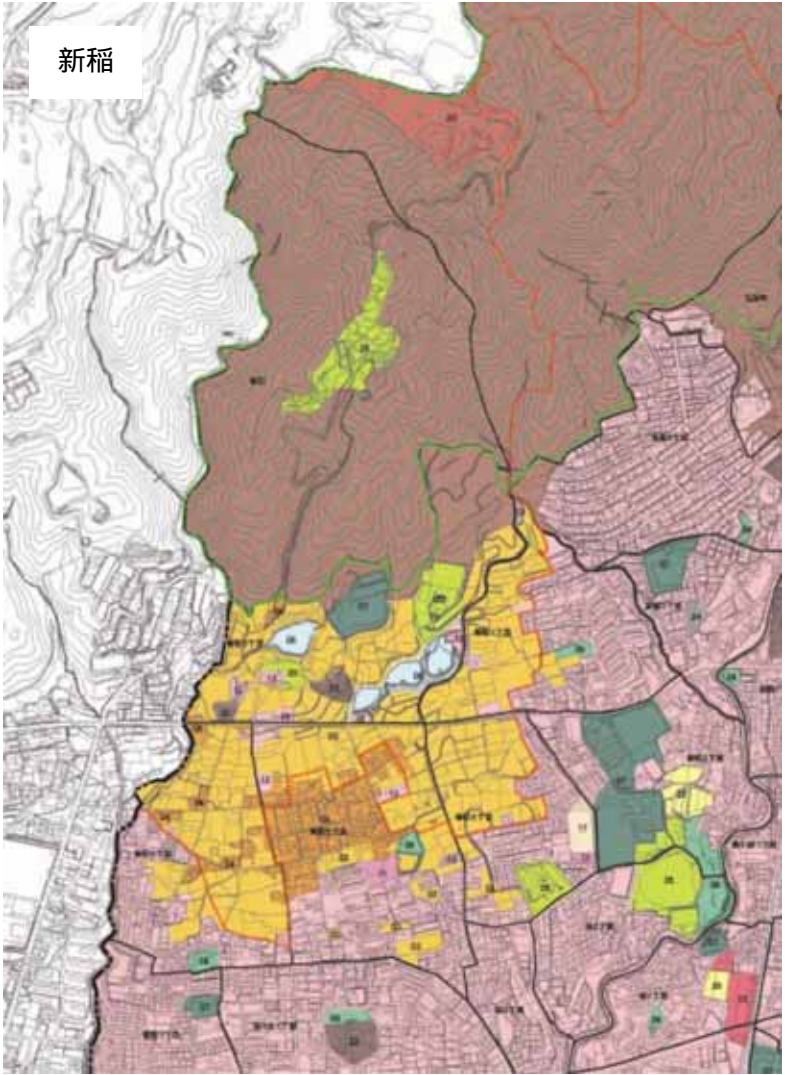
出典：H17 国勢調査



(3) 対象地区の土地利用現況 (H18)

単位：％

市街地	一般市街地	新稲	萱野	石丸	粟生	川合	止々呂美
	商業業務地		0.7	6.3			
	官公署						0.0
	工場地			4.0	8.4		1.3
	集落地	4.4	33.2	3.6	8.6	7.6	1.8
普通緑地	公園・緑地				0.6	0.0	
	運動場・遊園地	3.8		8.2			0.0
	学校	2.7		8.8			0.1
	社寺敷地・公開庭園	1.2			5.8		0.1
	墓地						0.1
農地	田		65.0	58.9	41.6	46.8	4.8
	休耕地						
	畑	69.1		0.0			9.7
原野・牧野	原野・牧野						
水面	水面	4.3		0.7		4.5	1.1
低湿地・荒蕪地	低湿地・荒蕪地						
公共施設	公共施設			1.3	4.9	1.2	0.1
道路・鉄軌道敷	道路・鉄軌道敷		1.1			5.4	
その他空地	その他空地					1.1	5.1
山林	山林	10.0			25.6	31.1	75.6



土地利用現況図凡例

分	種	用	色	色	仕
			影	号	様
市街地	一般市街地	一般市街地、住宅地の店舗が混在している地区 1,000㎡以上		13	区域塗りつぶし
	商業業務地	店舗、事務所等が混在している地区 5,000㎡以上		15	〃
	官公署	官庁、警察署、消防署 1,000㎡以上		12	〃
	工場地	倉庫、トラックターミナル等の流通施設を含む 5,000㎡以上		33	〃
	集落地	古くからある集落で農林漁業従事者がかなりある住宅地 1,000㎡以上		04	〃
普通緑地	公園・緑地	都市公園、緑地等 5,000㎡以上		06	〃
	運動場・遊園地	民営運動場、企業厚生施設等 5,000㎡以上		05	〃
	学校	幼稚園から大学までを含む 5,000㎡以上		07	〃
	社寺敷地・公開庭園	5,000㎡以上		22	〃
	墓地	公共墓園を含む 5,000㎡以上		24	〃
農地	田	5,000㎡以上		28	〃
	休耕地	稲作水田等 5,000㎡以上		28	〃
	畑	果樹園、苗圃等を含む 5,000㎡以上		03	〃
山	林	天然林等 5,000㎡以上		21	〃
原野・牧野		ゴルフ場を含む 1,000㎡以上		20	〃
水	河川	河川・・・幅員20m以上の一級河川、二級河川等の平水断面・・・最小値5,000㎡以上		08	〃
低湿地・荒蕪地		河川洪水敷、農目的の空き地等 5,000㎡以上		37	〃
公共施設		供給施設施設、飛行場、農林漁業試験場等 5,000㎡以上		11	〃
道路・鉄軌道敷		幅員20m以上の道路鉄軌道敷、電車線を含む		00	青色なし
その他の空地		未利用地、未建築宅地等 5,000㎡以上		17	区域塗りつぶし

山なみ景観保全地区

対象地区の土地利用現況内訳 (平成 18 年度)

出典：都市計画基礎調査より図上計測

